



板橋区コミュニティ・スクールってなに？

板橋区コミュニティ・スクール (iCS) は「**コミュニティ・スクール委員会**」と「**学校支援地域本部**」を**両輪・協働の関係で運営する仕組み**です。



学校・保護者・地域が一体となって様々な取組を行うことで、「子どもたちの豊かな学びの実現」、「地域コミュニティの活性化」、などにつなげていく取組です。

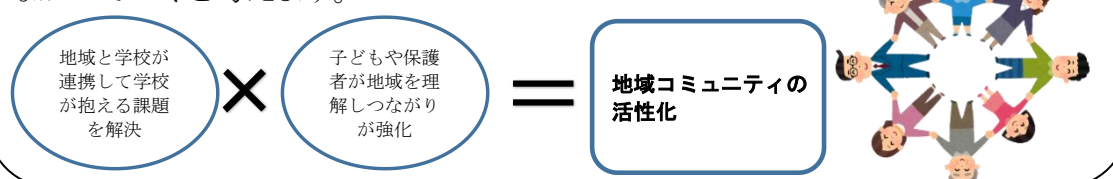
「コミュニティ・スクール委員会 (CS 委員会)」は、学校の経営方針・ビジョンを協議・承認するとともに、学校が抱えている課題 (学力・体力向上、学校行事の見直しなど) に対して、「**熟議**」を活用することで、**学校の課題に対する理解を深めながら、より多くの意見を反映させた具体的な解決策などを検討しています。**

「学校支援地域本部」は、学校の困りごとやコミュニティ・スクール委員会での発案について、**学校に対する支援活動の総合的な調整を行う地域コーディネーターを中心に学校・保護者と地域の方々が協働しながら学校の教育活動を支援する取組です。**「家庭科ボランティア」、「スポーツテスト支援」など、様々な取組が行われています。学校・保護者・地域・子どもたちそれぞれにとって魅力がある取組です。



学校・保護者と地域の方々が協働しながら取組が行われているんですね。学校の教育活動に様々な大人が関わることで、「子どもたちの豊かな学び」につながることは理解できましたが、「地域コミュニティの活性化」にはどのようにつながるのですか。

板橋区では iCS の仕組みを活用し、**地域一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」をめざします。**学校を核として「**地域の子どもは地域が育てる**」ことから地域の方々の互いのつながりが強くなり、地域コミュニティの活性化につながっていくと考えます。



次は各学校でどのような教育活動の支援が行われているのか、具体的な取組を見ていきましょう。



板橋区立小中学校iCSの具体的な取組例

上板橋第二小学校の取組

上板橋第二小学校では、保護者の方に「検温チェックボランティア」をしていただいています。令和2（2020）年度、学校からの依頼に基づいて、地域コーディネーターがボランティアを担っていただく方を募集して始まりました。「検温チェックボランティア」は、登校してきた児童の生活リズムチェックシートを確認し、体調に異常がないかチェックしています。



赤塚第三中学校の取組

赤塚第三中学校では、CS委員会での話し合いを経て、60周年を迎え外周整備がなされることに伴い、「花いっぱい運動」を実施してきました。エコポリス板橋下赤塚地区環境行動委員会、PTAとも連携し、地域の方と一緒に赤三中を花いっぱいにしようという思いのもと、ボランティアの方や生徒などが協力して、花壇やプランターの整備を行い、花の苗を植栽しました。



蓮根第二小学校の取組

蓮根第二小学校の学校支援地域本部の活動の一つであるおはなし会は、読み聞かせと図書室整備を行っています。コロナ禍での読み聞かせは、大型本やプロジェクターで投影しながら、自席で聞く子どもたちへマスク着用で実施しています。様々な制限の中、学校生活を送る子どもたちが、せめてこの時間だけは自由におはなしの世界を楽しめるように…。そんな思いも込めて、読み手も心豊かな時間を過ごしています。



桜川小学校の取組



桜川小学校のCS委員会では、「学校の現状を知ろう」をテーマに全教員を交えた熟議を行いました。教員から日頃の学校の様子を伝え、コミュニティ・スクール委員からは授業を見学した際に感じたことなどを伝えています。iCSとして、どのようなことができるか考えるきっかけづくりの機会となりました。



地域人材による学校支援と学校運営への参画の促進

近年、児童・生徒の状況に応じたきめ細かい学習支援や、生徒指導上の課題への対応、通学路を含む学校及び周辺地域の安全の確保など、学校が向き合う課題は複雑化・多様化しています。また、地域社会のつながりや支え合いの希薄化、子どもたちの規範意識や社会性の課題、子どもへの虐待の増加、貧困問題の深刻化など、子どもたちやその周りの状況も大きく変化しています。こうした課題を解決し、教育環境の充実を図るためには、学校は保護者や地域などとの連携・協働体制を構築し、その協力を得ることが不可欠です。

学校は、学校運営を進めるにあたって、保護者や地域などの意見を積極的に取り入れ、地域との協働を図りながら教育活動を展開していく必要があります。学校と地域とが課題をともに認識し、共通の目標やビジョンを持って、一体となって地域の子どもたちを育てていく「地域とともにある学校」の実現のために、板橋区は令和2（2020）年度に区内の全区立小・中学校で「板橋区コミュニティ・スクール（iCS）」を導入しました。

	No.	40	事業名	板橋区コミュニティ・スクール（iCS）の推進	
	担当部署		地域教育力推進課		
事業概要					
<p>「板橋区コミュニティ・スクール（iCS）」は、法に基づく学校運営協議会（本区では、「コミュニティ・スクール委員会」と称する）と、学校支援地域本部を「両輪・協働」の関係で運営する仕組みです。「コミュニティ・スクール委員会」は、保護者・地域住民・教職員などが、学校運営や学校運営への必要な支援に関する協議を行う会議体であり、「学校支援地域本部」は、保護者や地域の人材などがボランティアとして教育活動を支援する取組です。</p>					
取組における視点					
<p>学校に多様な価値観が持ち込まれることで、すべての児童・生徒がそれぞれの個性に応じた自己肯定感や自己有用感を育むことができる環境づくりをめざします。</p>					
目標		4年間の取組			
<p>学校と地域とが共通の目標やビジョンをもち、一体となって地域の子どもたちを育て「地域とともにある学校」の実現に向けて、板橋区コミュニティ・スクールの活用をめざす</p>		<p>【事務局】 「地域とともにある学校」の実現に向けて学校現場がビジョンを明確にし、iCSの活用を通じて具現化を進めることができるよう、情報発信・研修提供などを通じて、支援を行う</p> <p>【現場】 ①各学校のコミュニティ・スクール委員会での熟議を通じ、地域特性に応じた、自分たちの「地域とともにある学校」を見つけ出す ②学校支援地域本部の積極的な活動を通じて、「地域とともにある学校」の具現化を進める</p>			